

# 決算の概要 市民1人当たりの金額は

歳入歳出差引額 12億6,298万5,737円  
 純繰越金 11億2,786万9,723円  
 翌年度へ繰り越すべき財源 1億3,511万6,014円

平成25年度一般会計決算の歳出について、主なものの住民1人当たりの金額と平成24年度との比較をお知らせします。

増えました

福祉の充実↑  
 のために（民生費）  
**11万5,000円**

吉田統合保育園建設事業 6億5,225万円の増などです。  
 （平成24年度比：4,000円増）



歳出総額 364億3,297万円	歳入総額 376億9,596万円
民生費 94億6,781万円	市税 103億5,344万円
教育費 41億4,985万円	その他 37億2,442万円
公債費 60億443万円	地方交付税 65億3,269万円
商工費 30億942万円	国庫・県支出金 49億7,225万円
農林水産業費 8億2,949万円	繰入金 13億6,044万円
土木費 37億9,959万円	諸収入 27億2,495万円
消防費 16億2,018万円	市債 80億2,774万円
その他 75億5,217万円	

火災予防↑  
 などに（消防費）  
**2万0,000円**

分水消防署改築事業 1億2,500万円の増などです。  
 （平成24年度比：2,000円増）

借金の返済↑  
 のために（公債費）  
**7万3,000円**

平成21年度または22年度に借り入れた合併特例債や臨時財政対策債などの据置期間が終わり、元金償還を開始したことによるものです。  
 （平成24年度比：3万5,000円増）

土木工事↑  
 などに（土木費）  
**4万7,000円**

須頃郷排水対策事業 2億1,600万円の増などです。  
 （平成24年度比：4,000円増）

商工振興↓  
 のために（商工費）  
**3万7,000円**

中小企業融資貸付金 7億4,174万円の減などです。  
 （平成24年度比：8,000円減）

学校教育↓  
 などに（教育費）  
**5万1,000円**

吉田小学校改築事業 12億6,500万円の減などです。  
 （平成24年度比：1万2,000円減）

減りました



同額  
 でした

農林業の振興  
 などのために（農林水産業費）  
**1万1,000円**  
 （平成24年度と同額）

市民1人当たりの金額…平成24年度は平成25年3月31日現在の8万2,782人をもとにし、平成25年度は平成26年3月31日現在の8万2,364人をもとに計算しています。



平成25年度

# 決算に関する質疑

市民でにぎやかな200メートルいちび

## 歳入

市税 2億1,795万1,861円

収入未済額のうち、資産が未納のケースはどのくらいあるか。

答 資産があって未納のものは、平成25年度が548件で2389万9528円、金額では前年度比マイナス7.2%となっている。

## 地方交付税

60億5,000万円

問 地方交付税が減少しているが、危機感をどのように認識しているか。

答 24年度比で約1億2,600万円の減となっており、同時に公債費も上がっている。今後一本算定も控えており、非常に危機感を持っている。財政調整基金、減債基金の積み立てを十分に考慮していきたい。

## 歳出

### 総務費

広報等配布業務委託料 211万7,379円

問 広報つばめは全戸配布が基本だっ

## 商工費

小売商業商店街活性化事業補助金 2498万9,126円

問 商店街活性化に資する補助金への商店主の理解がとも低く感じているが、その周知をどのように進めてきたのか。

答 市のHPの産業のページでは随時説明を行い、新年度前に説明会を行っている。

## 教育費

Jack & Bettyプロジェクト 3101万8,605円

問 Jack & Bettyプロジェクトの成果について、どのように考えているのか。

答 Jack & Betty教室は土曜日に開催し、英語力を身につけている。英語スピーチコンテストを実施し、優秀な方は海外に親善大使として派遣し、燕市の魅力を伝えている。

## 奨学金貸付事業

1億2,562万2,166円

問 前年度より10名増員になった要因は何か。

答 一番多かった平成19年度から少しずつ減っており、24年度は31人だった。経済動向もあり25年度は増えてきたのではないかと見ている。

## 民生費

児童扶養手当給付事業 2億7,758万9,926円

問 受給世帯数は、父子・母子それぞれ何件あったか。父子世帯への支援状況はどうか。

答 父子世帯は42件、母子世帯は563件となっている。父子家庭の悩みを聞き取るため、交流会の機会をもつけるなど、今後検討していきたい。

## 庁舎管理費

6793万9,904円

問 新庁舎建設の説明の中には、経費の削減が効果として言われていたが、どの程度の効果があったのか。

答 平成24年度は、旧3庁舎合わせて9149万9,374円、平成25年5月からの新庁舎11カ月分で6793万9,044円の管理費となっている。

たと思うが、広報紙が届いていないという住民の声がいくつかある。どのように取り組んできたのか。

答 各自治会長を通じて全戸配布で取り組んでいる。広報紙が届かないという声は聞こえている。自治会長には広報紙の配布に漏れがないよう常々申しているが、今後も根気よく呼びかけていきたい。